

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<p>ICT機器を活用した授業展開を行うことで、主体的・協働的に学ぶことができるように生徒同士で互いに学び合う機会を定め、知識・技能の定着を図る。</p> <p>《知識の習得に関すること》</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 <p>《技能の習得に関すること》</p> <ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。 	<p>ICT機器を活用した授業展開し、生徒自身が感じた作品への思いや意図について根拠を持って表現し、他者と共有できる機会を取り入れることで多角的に主体的・協働的に思考力・判断力・表現力を育成できるような工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>ICT機器を活用した授業展開により、生徒が自ら学ぶ内容に対し、主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>学習評価の生徒へのフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> スモールステップでの学習を中心とし、基礎的な知識・技能の定着を図る。単元内の技能試験・定期考査を実施し、振り返りの機会を与える。 教科書、ワークシートと併せ、ICT機器を活用し、適切なフィードバックを行うことで、生徒が視覚的に習熟度の確認を行えるようにする。

◎単元(1～数十時間の学習内容のまとめ)は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICTとの関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	<p>【歌唱】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校校歌(斉唱・写譜) 		2	<ul style="list-style-type: none"> リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取って表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表現するか、思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを始めとする各単元に基づいた要点に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5	<p>【鑑賞】</p> <p>ボレロ</p>		2	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品の特徴とその背景にある人物や歴史および奏でられている音色に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

6	【歌唱】 ・アカペラ合唱 「交響第1番合唱」	・オーディオ機器の再生	4	・アカペラでの合唱をするために必要な基礎的な知識と技術を身につけて演奏している。	・声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫している。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを始めとする各単元に基づいた要点に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	【創作】 ・リズムドリル 【楽典】 ・音楽の決まり		1	・リズムを演奏するために必要な基礎的な知識と技術を身につけて演奏している。	・音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・音のつながり方の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
	【歌唱】 ・合唱コンクールに向けて ・課題曲練習 ・自由曲選曲 ・自由曲練習		2	・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う活技能を見につけ、歌唱で表現している。	・リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表現するか、重いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを始めとする各単元に基づいた要点に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
夏休						
9 10	【歌唱】 ・合唱コンクールに向けて ・課題曲練習 ・自由曲練習	・オーディオ機器の再生	6	・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを始めとする各単元に基づいた要点に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	【鑑賞】 ・連作交響詩「ブルタバ」		3	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と背景について理解している。	・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。
	【鑑賞・楽典】 ・音楽史 (バロック～近現代)		4	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	・音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	・作品の特徴とその背景にある人物や歴史および奏でられている音色に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

1 2 3	<p>【鑑賞】 ・音楽史 (近現代～まとめ)</p> <p>【歌唱】 卒業式歌</p>		<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。 <p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。 ・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴とその背景にある人物や歴史および奏でられている音色に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを始めとする各単元に基づいた要点に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
評価材および評価方法			実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査、ワークシートへの取り組み状況	実技試験、定期考査の記述内容、授業及びワークシートへの取り組み状況、